

2017年度第1回函館競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 駒ヶ岳特別

駒ヶ岳（こまがたけ）は、北海道渡島半島東部、内浦湾を臨む成層火山。大沼国定公園に属し、渡島富士とも呼ばれる。南麓に大沼・小沼・尊菜（じゅんさい）沼などの堰止め湖、南東麓には鹿部や留ノ湯などの温泉地がある。

○ HTB杯

HTBは、札幌市に本社を置く北海道テレビ放送の略称。昭和43年開局で、ANN（テレビ朝日）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 遊楽部特別

遊楽部（ゆうらっぷ）は、北海道南西部、八雲町の地名。名は、アイヌ語の「ユー・ラプ（温泉の流れる）」に由来するといわれている。遊楽部岳や遊楽部川などがあり、冬には天然記念物のオオワシやオジロワシが数多く飛来する。

<第2日>

○ 木古内特別

木古内（きこない）は、北海道南西部、津軽海峡に面した町。名は、アイヌ語の「リロナイ（高く昇る源）」または「リロナイ（潮の差し入る川）」に由来するといわれている。また、木古内駅は北海道最南端の駅として、北海道新幹線の玄関口の役目を果たしている。

○ サマースプリントシリーズ函館スプリントステークス（GⅢ）

サマースプリントシリーズの第1戦。

本競走は、平成6年に『札幌スプリントステークス』として創設された重賞競走。9年より、札幌と函館の開催日割の変更に伴って函館競馬場で実施されるようになり、レース名も現在の名称に変更された。

○ 北斗特別

北斗（ほくと）は、北海道南西部、渡島半島南部にある市。上磯郡上磯町と亀田郡大野町が合併し、平成18年市制施行。市内には、明治29年に創設された日本で最初の男子修道院であるトラピスト修道院がある。

<第3日>

○ 湯川特別

湯川（ゆのかわ）は、函館市東部の地名。温泉地として有名で「函館の奥座敷」とも呼ばれる。箱館戦争では、旧幕府軍の幕臣・榎本武揚が傷病兵を湯治させた。

○ 大沼ステークス

大沼（おおぬま）は、北海道南西部、七飯（ななえ）町にある駒ヶ岳の火山噴火でできた堰止め湖。周辺には小沼、蓴菜（じゅんさい）沼があり、大沼国定公園に含まれる。平成24年には、道南で初めてラムサール条約登録湿地に指定された。

○ 長万部特別

長万部（おしゃまんべ）は、北海道南西部の町。名は、アイヌ語の「オシヤマンペ（カレイ・ヒラメがたくさんとれる川口）」に由来するといわれている。沿岸漁業や酪農が盛んで、「かにめし」が特産品として有名。

<第4日>

○ 奥尻特別

奥尻（おくしり）は、北海道渡島半島の西方にある面積約143k㎡の島。名は、アイヌ語の「イクシュン・シリ（向こうの島）」に由来するといわれている。古くから水産業が盛んで「夢の島」「宝の島」とも呼ばれる。

○ UHB杯

UHBは、札幌市に本社を置く北海道文化放送の略称。昭和47年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 津軽海峡特別

津軽海峡（つがるかいきょう）は、本州と北海道の間の海峡。津軽暖流が西から東へ流れている。海底下約100mの地中には、全長53.85km（海底部23.3km）の青函トンネルが通っている。

<第5日>

○ 恵山特別

恵山（えさん）は、函館市東部、渡島半島南東端にある二重式成層火山。太平洋に突き出すように位置する活火山で、現在も噴気活動が見られる。名は、アイヌ語の「イエサン（火を吹き溶岩が流れ落ちる）」に由来するといわれている。

○ TVh 杯

TVh は、札幌市に本社を置くテレビ北海道の略称。平成元年開局で、TXN(テレビ東京)系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 洞爺湖特別

洞爺湖(とうやこ)は、北海道西部にあるカルデラ湖。名は、アイヌ語の「トヤ(湖畔)」に由来するといわれている。支笏洞爺国立公園に属し、周囲には有珠山、昭和新山などがある。平成20年には、主要国首脳会議(北海道洞爺湖サミット)が開催された。

<第6日>

○ 檜山特別

檜山(ひやま)は、北海道南西部の振興局。離島の奥尻町を含む全7町で構成され、渡島半島の日本海沿いに位置する。同局にある江差町は、かつてニシン漁業が盛んで、特に江戸後期から明治にかけての繁栄は、「江差の五月は江戸にもない」と謳われた。

○ 巴賞

巴(ともえ)は、水の渦巻くような模様。渡島半島南端にある函館湾は、その形が巴状になっているところから「巴湾」とも呼ばれる。

○ 道新スポーツ杯

道新スポーツは、道新スポーツが発行しているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。